

資料4

「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等について（2月分）

(1) 問い合わせ件数

平成17年2月 1日～平成17年2月28日

76件

(2) 内訳

食品安全委員会関係	22件
食品健康影響評価関係	18件
食品安全基本法関係	0件
リスク管理一般関係 (うち食品表示に関するもの)	34件 (8件)
その他	2件

*うちBSE関係 27件

(3) 問い合わせの多い質問等

【食品健康影響評価関係】

Q. 食品安全委員会の行う食品健康影響評価の対象について教えてください。医薬品も対象となるのですか。

A. 食品安全委員会が行う食品健康影響評価は、すべての飲食物を対象としておりますが、薬事法で規定されている医薬品及び医薬部外品は対象外となっております。

Q. 遺伝子組換え食品の安全性はどのような考えで評価されているのかわかりやすく教えてください。

A. 遺伝子組換え食品の安全性評価に当たっては、既存の食経験のある食品と比較し、遺伝子組換え技術により付加されることが予想される全ての性質の変化について、その可能性も含めて評価を行うこととしております。

具体的には、挿入されるDNA(遺伝子)の構造・機能などの情報をもとに、その挿入されるDNAから新たに作られたタンパク質が毒性やアレルギー誘発性を持たないか、目的としていないタンパク質ができていないか、できていたとしても安全性上の問題はないか、また、組換え体中の栄養素、栄養阻害物質等の構成成分や量が大きく変化していないか等について詳細な評価を行っ

ております。

なお、より具体的な評価内容等については、以下の評価基準等をごらんください。(<http://www.fsc.go.jp/senmon/idensi/index.html>)

- ・「遺伝子組換え食品(種子植物)の安全性評価基準」
(平成 16 年 1 月 29 日 食品安全委員会決定)
- ・「遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方」
(平成 16 年 1 月 29 日 食品安全委員会決定)
- ・「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」
(平成 16 年 3 月 25 日 食品安全委員会決定)
- ・「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」
(平成 16 年 5 月 6 日 食品安全委員会決定)

【BSE関係】

Q . v C J D の潜伏期間について教えてください。

A . 食品安全委員会では、これまでの日本における B S E 対策全般について検証を行い「日本における牛海綿状脳症 (B S E) 対策について-中間とりまとめ-」を平成 16 年 9 月に取りまとめたところです。

その中で、v C J D の潜伏期間については、「人に B S E プリオンが感染して中枢神経系に広がっていくメカニズムについては、時間的経過を含め、不明である。また、v C J D の潜伏期間の長さについても分かっていない。仮説では、数年から 25 年以上と幅広い。」とされています。

なお、「中間とりまとめ」の詳細につきましては、食品安全委員会ホームページ (http://www.fsc.go.jp/sonota/chukan_torimatome_bse160913.pdf) をご参照ください。

Q . 15 頭目の感染牛が発見されましたが、これまでに日本で確認された B S E 感染牛について、月齢と品種など、その概要について教えてください。

A . 厚生労働省及び農林水産省からの報告によれば、2月26日までに確認されている日本での B S E 感染牛は、15 頭で、月齢については、21、23、48、62、64、67、68、73、80、81、83、94、95、102、103 ヶ月齢の牛が確認されており、品種については、15 頭すべてホルスタインとなっています。

詳細は、下記概要のほか、厚生労働省の牛海綿状脳症 (B S E) 等に関する Q & A を参照してください。

(<http://www.mhlw.go.jp/topics/0103/tp0308-1.html#22q2>)

我が国で確認された B S E 感染牛の概要 (2005 年 2 月 26 日現在)

	確認日	牛の種類	出生日	月齢	臨床症状	確認検査
1	2001 年 9 月 10 日	乳牛	1996 年 3 月 26 日	64 ヶ月	起立不能	WB+, IHC+, HP+
2	2001 年 11 月 21 日	乳牛	1996 年 4 月 4 日	67 ヶ月	所見なし	WB+, IHC+, HP-
3	2001 年 12 月 2 日	乳牛	1996 年 3 月 26 日	68 ヶ月	所見なし	WB+, IHC+, HP+
4	2002 年 5 月 13 日	乳牛	1996 年 3 月 23 日	73 ヶ月	左前肢神経麻痺、 起立困難	WB+, IHC+, HP+
5	2002 年 8 月 23 日	乳牛	1995 年 12 月 5 日	80 ヶ月	起立不能、股関節脱臼	WB+, IHC+, HP-
6	2003 年 1 月 20 日	乳牛	1996 年 2 月 10 日	83 ヶ月	起立障害	WB+, IHC+, HP+
7	2003 年 1 月 23 日	乳牛	1996 年 3 月 28 日	81 ヶ月	所見なし	WB+, IHC+, HP-
8	2003 年 10 月 6 日	去勢牛	2001 年 10 月 13 日	23 ヶ月	所見なし	WB+, IHC-, HP-
9	2003 年 11 月 4 日	去勢牛	2002 年 1 月 13 日	21 ヶ月	所見なし	WB+, IHC-, HP-
10	2004 年 2 月 22 日	乳牛	1996 年 3 月 17 日	95 ヶ月	起立困難、股関節脱臼	WB+, IHC+, HP+
11	2004 年 3 月 9 日	乳牛	1996 年 4 月 8 日	94 ヶ月	股関節脱臼(死亡牛)	WB+, IHC+, HP+
12	2004 年 9 月 13 日	乳牛	1999 年 7 月 3 日	62 ヶ月	所見なし	WB+, IHC+, HP+
13	2004 年 9 月 23 日	乳牛	1996 年 2 月 18 日	103 ヶ月	起立不能、股関節脱臼	WB+, IHC+, HP+
14	2004 年 10 月 14 日	乳牛	2000 年 10 月 8 日	48 ヶ月	窒息死(死亡牛)	WB+, IHC+, HP+
15	2005 年 2 月 26 日	乳牛	1996 年 8 月 5 日	102 ヶ月	所見なし(死亡牛)	WB+, IHC+, HP+

「確認検査」欄は、各種検査 (WB: ウェスタンブロット法による検査、IHC: 免疫組織化学検査、HP: 病理組織検査) の結果 (+ : 陽性、 - : 陰性) を示したものの。